

July 26, 2008

JAWIC

Seattle News

ポータック社の製材工場をインターフォー社が買収

7月24日、インターフォー社（本社BC州バンクーバー市）はポータック社がオリンピック半島フォークス市近郊のビーバー製材工場およびプレーナー工場を約2800万ドルで買収すると発表。同工場は近隣の州有林や私有林から原木を購入し、主として2x4、2x6などのディメンションランバーを生産しており、年間製材能力は1億4500万BM（ノミナルベース約34万m³）で従業員は約100人。ポータック社はミツイUSAが100%保有する製材企業で、今年に入りタコマ工場をすでに閉鎖している。今回の売却でミツイUSAは米国での製材事業から完全に撤退することとなる。

現在、米国の製材市況は低迷を続けているが、インターフォー社はいずれ住宅不況が終わり需要が再び増大すると見通し、中長期的な戦略で今回の買収を決定している。同社はオリンピック半島ではポートアンジェルス市にすでに拠点を築いており（クラウンパシフィック社から買収したディメンションランバー工場）、同地域での重要な製材企業となる。